

天満屋倉敷店 2019年2月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
1/30(水)～2/4(月)	<p>— 一時の音色・森の旅人 — ゆのん 風のおるごーる展</p> <p>京都で天然木を使用した創作オルゴールを制作しているゆのん(川原崎純子)先生の展覧会です。お子様のご病気がきっかけで、医師から「オルゴールが自律神経に良い」とアドバイスを受け、独学で木工を開始。木が持つあたたかさを生かした作品が支持され、地元京都を中心に作品を発表されています。製材からデザイン、パーツの加工・構成、音色の表現まですべてご自身で手掛け、細部にわたり1点1点手作りされた作品は、可愛らしいデザインと色彩でメルヘンの世界へ誘います。オルゴールが奏でるやさしい音色、そして木のぬくもりが伝わる心癒される作品約50点を出品いたします。</p>
2/6(水)～2/11(月・祝)	<p>— 自然との対話・絵筆の息吹き — 佐々木麦 油彩画展</p> <p>滋賀県在住で日展系公募美術団体「白日会」の関西事務局長を務めておられる洋画家・佐々木麦先生の個展です。典型的な写実からスタートし、その卓越した技術を背景にしながら、「一瞬の光をとらえる」ため徹底した現場主義で描かれた作品は、力強く臨場感に溢れ、時とともに表情を変える自然の中の光の移り変わりや時間の流れを感じさせます。近年数少ない古き良き日本の洋画をイメージさせる画風には定評があります。倉敷の風景を含めた新作約30点を出品いたします。</p>
2/13(水)～2/18(月)	<p>第3回 海がつなぐ記憶— 景德鎮と備前陶 — 真如堂・森大雅・吉川恵司</p> <p>中国と日本でそれぞれ千年以上の長い歴史と伝統を持つ景德鎮と備前焼。今展では中国で活躍する景德鎮の若手作家集団「真如堂」のメンバーと、備前焼の若手作家森大雅先生と吉川恵司先生による展覧会です。あわせて、景德鎮の重鎮・邱含氏の作品も展覧いたします。景德鎮約50点、備前焼約50点を一堂に展覧いたします。</p>
2/20(水)～2/25(月)	<p>— 日々暮らしに彩りを — 1万円からの絵画お買得市</p> <p>「日々暮らしに彩りを」をテーマに、お求めいただきやすい価格の油彩画、水彩画、版画をお買得価格で販売いたします。約60点を出品いたします。</p>
2/27(水)～3/4(月)	<p>水森亜土のクワイイ作品展</p> <p>イラストレーター、画家、女優、ジャズ歌手など多分野において活躍されている水森亜土さんの作品展です。日本の代表的なイラストレーターとして活躍されてこられた水森亜土さんの作品は、一般的な画家の世界とは一線を画し、個性豊かで夢のある画風は美術ファンはもちろんのこと世代や時代を超えて幅広く根強い支持を得ています。女性ならではの「クワイイ」世界をご紹介します。油彩・水彩・版画など約30点を出品いたします。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※1/5・12・19・26は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。
